

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年7月29日(2024.7.29)

【公開番号】特開2023-56607(P2023-56607A)

【公開日】令和5年4月20日(2023.4.20)

【年通号数】公開公報(特許)2023-074

【出願番号】特願2021-165914(P2021-165914)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月19日(2024.7.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1遊技状態から第2遊技状態に移行可能であり、

遊技価値の付与数と、遊技価値の使用数との差数に関する情報を記憶可能であり、

前記差数に関する情報が所定数に到達した場合には、遊技の進行を抑制するための制御が実行される状態である抑制状態となるよう構成されており、

第2遊技状態中の所定タイミングにて、前記差数に関する情報が前記所定数に到達した場合には、当該所定タイミングでは抑制状態にはならず、第2遊技状態終了後の特定タイミングにて抑制状態となるよう構成されており、

第2遊技状態中の所定タイミングにて、前記差数に関する情報が前記所定数に到達した後に当該所定タイミングから第2遊技状態終了までに前記差数に関する情報が前記所定数を下回った場合であっても、第2遊技状態終了後の特定タイミングにて抑制状態となるよう構成されている

30

遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0005】

本発明は、

第1遊技状態から第2遊技状態に移行可能であり、

遊技価値の付与数と、遊技価値の使用数との差数に関する情報を記憶可能であり、

前記差数に関する情報が所定数に到達した場合には、遊技の進行を抑制するための制御が実行される状態である抑制状態となるよう構成されており、

第2遊技状態中の所定タイミングにて、前記差数に関する情報が前記所定数に到達した場合には、当該所定タイミングでは抑制状態にはならず、第2遊技状態終了後の特定タイミングにて抑制状態となるよう構成されており、

第2遊技状態中の所定タイミングにて、前記差数に関する情報が前記所定数に到達した

50

後に当該所定タイミングから第2遊技状態終了までに前記差数に関する情報が前記所定数を下回った場合であっても、第2遊技状態終了後の特定タイミングにて抑制状態となるよう構成されている様である。

また、本発明は、

遊技中における差数（付与数から投入数を減算した値）が所定数を超えた場合に遊技の進行を停止する処理が実行可能であり、

差数を記憶する差数記憶領域と、

総投入数を記憶する投入数記憶領域と、

総付与数を記憶する付与数記憶領域と、

を有しており、

10

付与数記憶領域に記憶されている値から投入数記憶領域に記憶されている値を減算した結果が正の値であれば、差数記憶領域に減算した結果を記憶し、

付与数記憶領域に記憶されている値から投入数記憶領域に記憶されている値を減算した結果が負の値であれば、差数記憶領域に0を記憶する様であってもよい。

20

30

40

50